

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 23 年 4 月 25 日（月）ご依頼分より

■ 新規項目

検査項目	● 可溶性メソテリン関連ペプチド
------	------------------

■ 新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6314 7	可溶性メソテリン 関連ペプチド	血清 0.3	↓ X	冷蔵 (28日)	依頼時にご確認ください		CLEIA	1.5未満 (nmol/L)	

● 可溶性メソテリン関連ペプチド

悪性中皮腫における初めての血中のマーカー「可溶性メソテリン関連ペプチド」を測定いたします。

悪性中皮腫は、繊維性の天然鉱物アスベスト（石綿）の粉塵を吸入することで発生する悪性腫瘍で、40年と非常に長い潜伏期間の後に発症する特徴があり、発症後の生命予後は極めて不良です。

その原因であるアスベストは、物性を活かして、高度成長期に建築材料などの様々な製品に利用され、使用量が急増した1960年代から90年代に減少するまで大量に使用されました。

大量に使用され始めてから40年の潜伏期間を経た2000年代から中皮腫が増えはじめ、これから発症が増大することが予測されています。今後、未発症の石綿取り扱い関係者等の経過観察や早期診断が求められています。

血中の可溶性メソテリン関連ペプチドは、悪性中皮腫に高濃度に検出され、他の肺癌や石綿関連良性疾患の検出率は低いことから、今まで画像診断や組織診断に拠っていた中皮腫で初めての血中バイオマーカーとして、その有用性が期待されています。

▼ 疾患との関連

● 悪性中皮腫

▼ 検査要項

検査項目名	可溶性メソテリン関連ペプチド
項目コード No.	6314 7
検体量	血清 0.3 mL
容 器	→X（ポリスピッツ）
保 存 方 法	冷蔵保存してください。
保存安定性	冷蔵保存で28日間
所 要 日 数	依頼時にご確認ください
検 査 方 法	CLEIA
基準値（単位）	1.5 未満 （nmol/L）
実施料	未収載
判断料	未収載
備 考	

● 参考文献

中町 衛, 他: 医学と薬学 65 (2): 261~267, 2011. (検査方法参考文献)
Robinson.B.W.S., et al: The Lancet 362 (15): 1612~1616, 2003.